

# 平成13年度第2回熊本県環境影響評価審査会 議事概要

日時：平成13年4月27日（金）午前10時00分～午前11時45分

場所：熊本テルサ2階 「研修室CD」

出席者

熊本県環境影響評価審査会：今江会長、内山委員、江端委員、園田委員、西岡委員、  
林委員、弘田委員、藤木委員、堀委員、村田委員、吉田  
委員

事務局：熊本県環境生活部環境政策課職員（古庄、真田、増田、矢野、藤山）

事業者：熊本県土木部港湾課職員（大塚課長補佐、山下主幹、前田参事）、コンサル  
タント会社職員

議題

八代港公有水面埋立事業に関する環境影響評価準備書について（準備書等の内容説明、  
審議は次回）

議事概要

- 1 今回事業のアセスの流れについて  
審査会事務局（環境政策課）から環境影響評価法に基づくこれまでの手続きの経過  
及び今後の手続きの流れについて説明が行われた。
- 2 事業及び環境影響評価準備書の説明  
熊本県土木部港湾課から事業及び環境影響評価準備書に関する説明が行われた。
- 3 質疑等
  - ・記載された種の学名に誤記がある。
  - ・埋立地の護岸の内側と外海とで海水の出入りがあることから、埋立てに用いる浚渫  
土砂については、有害物質のチェックに加え、赤潮発生防止の観点から、窒素及び燐  
についてもチェックする必要がある。
  - ・工事中のモニタリングの期間について、5年～10年の長期間での監視の必要性を  
検討すべきではないか。
  - ・埋立工事中に浚渫土砂等の悪臭による「人と自然との触れ合い活動の場」（黒島の  
バーベキューサイト）への影響はないか。同施設の代替施設はどこか。
  - ・埋立て後の土地の利用方法等はどうなっているのか。
  - ・両生類の調査時期は3月が望ましい。
- 4 その他  
特になし。

## 配布資料

- 1 八代港公有水面埋立事業に関する環境影響評価準備書
- 2 八代港公有水面埋立事業環境影響評価準備書のあらまし
- 3 八代港公有水面埋立事業に関する環境影響評価の概要
- 4 今回アセス案件に係る環境影響評価技術指針
- 5 今回アセス案件に係る意見照会書